

令和元年 10 月 4 日

白馬山・大法山を歩く ～ムクロジ、バクチノキを訪ねて～

台風 17 号の福岡県接近を心配していましたが、前日に日本海に抜け、当日は朝から晴れで絶好の登山日和となり、中間市の中央公民館自然再発見講座の受講生 28 名と引率者 2 名と一緒に嘉麻市にある白馬山から大法山へ縦走しました。

白馬山・大法山には樹齢 400 年のバクチノキや樹齢 150 年のムクロジなどの自然林や堆積岩の一つである礫岩が随所に顔を出している自然の宝庫の山々です。

下見時にたくさんの樹木や自然物を観察しましたが、今回の観察会で覚えてほしいと思うもの六つをピックアップし説明することとしました。

■カゴノキの特徴ある樹皮、■バクチノキの特徴ある樹皮、■超長細い葉のバリバリノキ、
■ムクロジ、■人工林、自然林、下層植物について、■礫岩

特に、樹木の説明では名前を覚えてもらうために「名前の由来」などを詳しく説明しました。また、ムクロジの説明では果肉のサポニンを用いた石鹸づくりも実演しました。途中、自宅に持って帰りたくなるようなシダ植物、イワヒトデ、ヒトツバ、クリハランなどを鑑賞しながら鴨ヶ岳に着き、遠くに英彦山、鷹ノ巣山を見ながら昼食をとりました。

昼食後は英彦山の噴火時期の質問から、阿蘇山の噴火、筑豊炭田の誕生、地球の誕生、生物の誕生や爬虫類と恐竜の違いなどの地史のクイズで楽しみ下山を開始しました。途中ムクロジの地点では足を止めて皆で実を探し、数個のムクロジを収穫しました。

振り返りで今日観察した樹木を三つ挙げて下さいと質問したところ、「カゴノキ、バクチノキ、ムクロジ、バリバリノキ」と期待以上の回答があり、振り返りを終了しました。

登山途中で体調のすぐれない方が 1 名出ましたが、引率者がスタート地点まで連れて帰り、バスで待機していたことの他はケガもなく無事に終了することが出来ました。



(スタッフ：野見山、手嶋、中村)